

幸福実感日本一の県を目指す!



鈴木知事との懇談会を開催しました!!

平成23年12月14日(水)正午、津市の東洋軒において、鈴木知事との懇談会を開催しました。当日は、鈴木英敬三重県知事と山川進三重県農水商工部理事がお越しくださり、春から希望していた懇談が実現しました。

まず、伊藤会長が鈴木知事と山川理事に対し、本懇談会への出席のお礼を述べ、今年度は当レディース中央会が10周年の節目であることと、本日は今までに無い多数の参加者があり、うれしく思うとあいさつしました。

次に鈴木知事より、「知事に就任して8ヶ月が経ちました。三重県には、素晴らしいものがあるので、それらに更に磨きをかけていきたいと考えています。」とあいさつがあり、その後、知事は、レディースの参加者1人1人と名刺交換をされました。

また知事より、「2011年の今年の一字に『絆』という文字が選ばれましたが、知事となった自分のことを漢字1文字で表すと『命』です。その理由は、自分が就任してから台風の災害により県内の方が2名亡くなられ、尊い命を失いました。この災害のことを忘れてはいけないと思っています。また、今年就任した知事という使命。政治家という命を受けたこと。」と述べました。



更に、今、三重県の今後の10年をどうするかを考えているとのことで、そのキーワードとして次の3つについて説明があり、幸福実感日本一の県を目指す力強く述べました。

1. アクティブシチズン—自立して行動する県民。
2. 県民カーアクティブシチズンの力を結集。
3. 協創—今まで取り組んできた「協働」から、更に新しいものをつくり出す。

その後、レディースメンバーより、次のような質問等がありました。

- ・障がいの有無・程度を問わずセーリングを楽しむ会が県内にありますが、津市のハーバーのトイレ事情が不便であることなどを鈴木知事にも知ってもらいたい。
- ・9月に教科書改訂があり、伊勢の歴史を盛り込んだ教科書を希望したが採用されませんでした。次回の改定までには何をすれば良いと思われませんか。
- ・県内大学等で学んだ学生が医者になると県外で就職します。8年後には県内の医者が増える制度ができたようですが、もっと直近で僻地でも医療について安心できる工夫はないでしょうか。
- ・病時保育の現状は？
- ・過疎化対策は？
- ・「三重県」を県外に向けて、もっと周知してほしい。

上記について鈴木知事は、

「法律上、知事の権限ではできないことが結構あると実感していますが、今後も様々な状況について改善に取り組んでいきます。地域の議員等を介して議会での発言により回答、改善できる場合もあるので、皆さんの地域での取り組みも必要です。

また、医者については、県内定員を増員しました。県内で学び、県内の病院に就職すると学費が無料になる奨学制度を制定しました。制度を利用する人はまだ学生であり、今すぐ実行というわけにはいきませんが、来年2月からはドクターヘリが実施されるなど改善に向け、取り組んでいます。」と回答がありました。



更に、「三重県」の周知については、自身が「三重県の営業マン」と述べ、現在「防災」とともに県の営業に力を入れていることや、スポーツが皆の心を一つにできると考えているので、平成33年には、国体を三重県で開催し、県民が一丸となって幸福実感を味わえる県にしたいと熱く話されました。

参加したメンバーからは、「こんな間近で聞いてもらえてよかった。」、「三重県のPRに力を入れていることがよく伝わってきた。」、「今回話ができたことで、自分たちも努力して次の改善につなげていきたい。」と知事と懇談ができた喜びの感想がありました。